

～次世代へつなぐ 千曲川の環境づくり～

第4回「千曲川 鮭稚魚の市民環境放流会 in上田」

平成 27 年 3 月 14 日(土) 14 時～15 時

上田 道と川の駅「川の駅(水辺プラザ)」

◆現在の取り組み(昔のように、鮭などの魚類が遡上、産卵、降下できる川に)
かつての千曲川は、秋になると数千尾の鮭が遡る自然豊かな河川でした。昭和初期ダムや発電所が造られると、鮭は故郷の信州へ帰ってくる事が出来なくなりました。しかし、ここ数年間ダムからの放流量を増やしたり、魚道を改善したり、鮭の稚魚放流を継続したところ、2010 年 65 年ぶりに上田のヤナ場に鮭が発見されました。そして翌々年の 2012 年にも同じヤナ場に鮭が発見されました。また、下流の新潟県側の宮中取水ダムでも年間数十尾であった鮭の遡上が、一昨年は 408 尾、昨年は 736 尾と劇的に増えている事が国交省の調査で分ってきています。鮭の遡上する千曲川を目指し、4 年前より上田で稚魚放流と環境に配慮した自然ふ化をさせる試みを行っています。近い将来、稚魚放流した鮭と自然産卵した鮭のペアが故郷に帰って来る事を願っています。

式次第

13:30 受付開始

14:00 開会式

司 会

上田道と川の駅 おとぎの里
田幸正人

- ・ 主催者あいさつ NPO法人 新潟水辺の会代表 大熊 孝
- ・ 来賓のごあいさつ 国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所長 宮武 一郎 様
- ・ 来賓のごあいさつ 上田市市長 母袋 創一 様
- ・ 来賓のごあいさつ鮭の話 上小漁業協同組合組合長 富岡 道雄 様

- ・ 稚魚放流 鮭の稚魚 2 万尾

14:30 記念写真撮影

14:40 (半過公民館へ移動)

15:00 活動発表会・情報交換会 (於:半過公民館)

発表 南小学校、信州上田千曲川少年団、日本ボーイスカウト新潟連盟 黒埼第一団

16:30 終了

主催:NPO 法人 新潟水辺の会

共催:上小漁業協同組合、上田道と川の駅 おとぎの里